

# RIS322

高性能断面修復材(コテ塗り用ポリマーセメントモルタル)

## 早強タイプ

### 1 はじめに

RIS322は、ポリマーと特殊プレミックスセメントを組合せた、補修および新規工事用のコテ塗り用ポリマーセメントモルタル材料です。作業性に優れた早強タイプで、当社で長年培われた〈特殊セメント系材料〉と〈ポリマー〉の技術を複合させた優れたモルタル材料です。

RIS322は、使用時に水とポリマーエマルジョン「RIS211S」を加え、練り混ぜるだけで、付着力の優れた補修用モルタルが得られますので、コテ塗りによる断面修復工事を容易に行うことができます。

### 2 特長

- 特殊混和材の技術を応用した高性能ポリマーセメントモルタルです。
- 付着性に優れています。
- ひび割れに対する抵抗性が優れています。
- 耐中性化、水密性に優れ、長期の耐久性が期待できます。

### 3 用途

- コンクリート構造物(土木構造物、一般建築物、港湾・海洋構造物)の断面修復
- プレストレストコンクリート構造物などの補修

### 4 荷姿

RIS322 25kg袋  
RIS211S 18kg缶

### 5 配合

標準配合

	RIS322	RIS211S	水
1袋あたり	25kg	1.1kg	2.25kg
1m <sup>3</sup> あたり	1775kg	78kg	160kg

※1 練上がり時の材料密度を2.0(g/cm<sup>3</sup>)とする。

※2 1袋の練上がり容量は約14ℓ

### 6 使用量

1m<sup>2</sup>に対して塗り厚10mmで、RIS322を17.8kg、RIS211Sを0.78kg使用する。

## 7 物性値(一例)

温度20℃

項目	単位	材 齢	測定値	測定方法
モルタルフロー値	mm	直後	175	JIS A 1171:2000
凝結時間	分	始発 終結	180 260	JIS A 1147:2001
圧縮強度	N/mm <sup>2</sup>	1日 7日 28日	25 35 41	JIS A 1171:2000
曲げ強度	N/mm <sup>2</sup>	1日 7日 28日	5.1 7.0 7.7	JIS A 1171:2000
付着強度	N/mm <sup>2</sup>	7日 28日	1.8 2.0	JIS A 1171:2000

## 8 施工手順

### 1) 施工面の下地処理

施工面の埃や汚れを除去して下さい。油類等は洗剤で洗い落して下さい。

### 2) プライマー塗布

RIS211Eの3倍希釈液を塗布して下さい。

(詳しくは、RIS211Eのカタログの使用法を御参照下さい。)

### 3) 塗付け

RIS322を所定配合でハンドミキサ等を用いて練り混ぜて下さい。練上がったモルタルを一般のコテ塗り用モルタルと同様にコテで塗り付けて下さい。作業要領および使用器具等は一般のコテ塗り用モルタルと同じです。

### 4) 養生

施工後は適切な養生を行って下さい。RIS322の施工後、硬化するまでは水が掛からないようにして下さい。施工面に日光や風が直接あたる場合には、塗膜養生剤としてRIS211Eの3倍希釈液の塗布をお勧め致します。

※詳しくは施工要領書を御参照下さい。

## 9 使用上の注意

1) RIS322に他のセメント、フライアッシュ、砂、混和材(剤)等を混和しないで下さい。

2) 可使用時間は温度、湿度等の環境条件により変化しますので、使用前に試し練りで可使用時間を確認して下さい。

3) 乾燥した冷暗所で保管して下さい。

# Denka



### 警告



●水や汗・涙等の水分と接触すると強いアルカリ性になり、皮膚、目、呼吸器等を刺激したり、粘膜に炎症を起こします。●目に入れないこと。入った場合は、直ちによく洗浄し、専門医の診断を受けること。●皮膚に付けないこと。●鼻や口に入れないこと。●保護メガネ、防塵マスク、ゴム手袋を着用すること。●子供に触れさせないこと。

### 【使用上の注意】

- RIS322に他のセメント、砂、混和材料等を混和しないでください。
- 外気温が3℃以下の場合、施工を中止するか、適切な保温対策を行ってください。
- 可使用時間は温度、湿度等の環境条件により変化します。使用前に試し練りを行ってください。
- セメントと同様な保管要領にしたがって、直射日光を避け、乾燥した冷暗所で保管してください。
- 特に亜硝酸リチウムの添加は有害なNoXガスが発生しますので絶対に行わないでください。
- 次層塗り付けまで数日間養生期間を設ける場合は清掃とプライマー塗布を行ってください。

### 【データ等記載内容についてのご注意】

- 本書記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値や調査に基づくもので、その記載内容についていかなる保証をなすものではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかおよび安全性については、貴社の責任においてご確認ください。
- 本書記載の当社製品およびこれらを使用した製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄してください。
- ご使用になる前に、詳しい使用方法や注意事項等を技術資料・製品安全データシートで確認してください。これらの資料は、当社の担当部門にご用意しておりますので、お申しつけください。
- 本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。